

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

超精密とメカトロメーション®を追求する

Seibu

ワイヤEDM 新Mシリーズ開発

水仕様ワイヤ放電加工機のラインアップを刷新 精密マシンの「M35HP」および「M50HP」、 超精密マシンの「MM35UP」「MM50UP」開発

水仕様ワイヤ放電加工機 新Mシリーズ4機種開発

西部電機は、JIMTOF2022に水仕様ワイヤ放電加工機の新製品「新Mシリーズ」を出展した。

同社は、好評の水仕様ワイヤ放電加工機のラインアップを刷新。新たに精密マシン「M35HP」および「M50HP」、超精密マシン「MM35UP」および「MM50UP」の4機種を開発し、11月より販売を開始した。

新たに開発した新Mシリーズは、半導体分野などで高まる高精度ニーズに対応するとともに、加工対象物の大型化に対応する。

半導体分野などの 高精度ニーズに対応

新Mシリーズは、MBシリーズをベースに「軸移動範囲の延長」や「剛性を高めた機械構造」を採用。また、精密機と超精密機の部品共通化率を高めたことにより、従来の超精密機よりも価

格を抑えたコストパフォーマンスに優れた製品開発を実現した。

加工精度の安定性向上

新Mシリーズは、MBシリーズよりもさらに安定した加工精度を実現するため、CAE解析による機械構造の見直しを行い、従来比25%剛性をアップした。この剛性アップには、同社伝統の技「きさげ」と高剛性機械の融合により、

長期に渡る加工精度維持を可能にした。

また今回、高精度機以上にのみ搭載していたツインテンション方式を全機種標準に標準搭載した。ワイヤ振動低減とワイヤテンション値変更低減効果により、位置決め精度向上ならびに仕上げ加工面品質向上を実現した。

生産性を向上

新Mシリーズはコの字型テーブルを廃止し、口の字型テーブルを全機種に標準搭載。また、Y軸移動範囲を50mm延長し、加工可能範囲を拡大した。これにより、今までは1枚しか設置できなかったプレートを縦に2枚設置することが可能になり、生産性向上に貢献する。

メンテナンス性向上

さらに新Mシリーズでは、メンテナンス画面を一新し、NC上で完結できるメンテナンス画面を開発した。メンテナンス項目は、「取付部位」や「点検頻度」で絞り込みを行うことができ、状況に応じて表示の変更ができる。

履歴管理画面では、「メンテナンス品の交換通知設定」や「コスト計算」をすることができ、見積もり作成に貢献する。

「清掃」「交換手順」をマニュアルや動画で確認可能となり、初めて機械を使用する作業でも問題なく作業を行うことができる。

(※資料提供：西部電機)



■西部電機URL→ <https://www.seibudenki.co.jp/>